

寶泉寺だより

2013/9/5

秋彼岸号

発行者

宝泉寺住職
大塚亮英

宝泉寺ホームページhttp://www.waseda-housejri.or.jp

メール info@waseda-housejri.or.jp

TEL 03-3203-8383

Fax 03-3207-0297

高田富士

ご存じの通り高田富士は宝泉寺境内には、現存しておりません。明治

なる富士講の方々が日行の墓参にいらっ
しゃいます。

になり神仏分離とされ、神社と寺が
分かれ高田富士も神社所有となり、
昭和39年に早稲田大学が神社と高
田富士を買収し、西早稲田三丁目
にある甘泉園に移築されてしまいまし
た。現在の墓地の形態になる以前を
知る方は懐かしく思い出されるかと
存じます。

宝泉寺の高田富士は、残念ながら
もう在りません。しかし富士山を崇
拝し多くの人にご利益を分けてあげ
ようとした日行の仏心と精神を引き
継ぎ、大切な信仰や文化を守りつづ
けていきたいものです。

お彼岸の時に是非お参り下さい。

(亮英記)

て賑わっていたそうです。そのよう
な信仰や文化が認められて、この度
の登録となったのです。

江戸の富士信仰

その富士山ですが、当時は、現在
のように誰でも登れる山ではなかつ
たようです。霊山と呼ばれる山々
(比叡山など)は選ばれた者がやつ
と登山ができる、とても神聖な山と
されておりました。山上で雲海を眺
め、ご来光に仏を感じ正に極楽の世
界を体感したとされておりませう。ま
た、そのような体験をし、有り難い
ご利益を求めて信仰も広まったので
しょう。

富士登山は一生に一度出来るかど
うか、江戸庶民にとって届かぬ願
いだったのです。その信仰が栄える中、
江戸に模造の富士山を造り、人々に

叶わぬ夢を叶えてあげようと実際に
登山し参拝したごとく浅間神社など
をお祀りし、体験できるような、現
代でいうところのテーマパークが江
戸各地に造られました。

その中で一番最初で最大であつ
たのが、宝泉寺の高田富士です。

今年六月に、富士山が、世界遺産
に登録されましたが、それまでには
様々な課題があったそうです。特に
はゴミの問題です。訪れる観光客の
マナーが問われています。

この度、世界遺産に登録されたの
も、文化遺産としての富士山で、信
仰の対象として歴史ある文化が認め
られての登録であったようです。富
士山参拝の信仰が盛んになったのは、
江戸時代からで、当時、富士山は今
以上に霊山として崇拝され、多くの
富士講と呼ばれる組織が形成され参
拝者が麓の街に集い宿坊などが出来



江戸時代の高田富士